

2008年度 第1回特別展

記憶のなかの神戸空襲

豊田和子原画展

2008年 8月6日(水)～9月7日(日)



下町の暮らしと戦争

昭和10年代、神戸の下町。

商店街には物売りのかけ声や子どもたちの遊ぶ声が溢れ、
新開地や福原など神戸一の歓楽街は、華やいだ雰囲気にもまれていた。

しかし、戦争が激しさを増すにつれ、街からは活気が失われ、

昭和20年3月17日、街は空襲によって焼かれた……。

空襲体験、戦争で失われた懐かしい下町の暮らしや文化を、
「記憶のなか」から紡ぎ出された画で紹介します。



The Center of the Tokyo Raid and War Damages

東京大空襲・戦災資料センター

12:00～16:00 (月曜・火曜)休館日 一般 300円・中高生 200円・小学生以下 無料